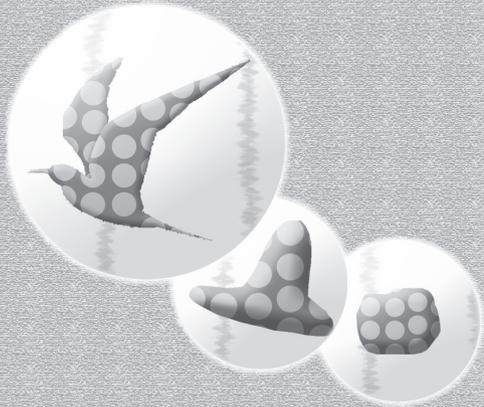


アニメ 空中ブランコ

目から鱗 DVD



「いらっしゃーい！」

伊良部総合病院の精神科医、伊良部一郎のもとにはさまざまな症状を持った患者が訪れる。飛べない空中ブランコ乗りに先端恐怖症のヤクザ、投げられない野球選手やケータイ中毒の高校生。

「とりあえずふっといの打っところか！ グヌヌヌヌ！」

いつも極太のビタミン注射から始まる伊良部の治療は、一見ふざけているようでしかない。しかし、勝手気ままな伊良部に引っ掻き回されながら患者たちは皆それぞれの解決にたどり着く。



奥田英朗による、直木賞を受賞した同名の小説『空中ブランコ』と、それに連なる連作短編「精神科医・伊良部」シリーズのアニメ作品。フジテレビの深夜アニメ放送時間帯であるノイタミナ枠で2009年の10月から放送された。全11話。

くるくると姿が変わる伊良部一郎や水玉模様がちりばめられた背景などの超現実的な映像表現、注射によって動物に姿を変える患者や時に実写の映像になる人々といった象徴的な演出技法により、放送当初から話題を呼んだ。



患者の見る通常ではない世界を描くため、アニメという表現の包容力と自由さをフルに活用した本作。一見するとゲテモノのようだが、考証や構成がしっかりとなされているため、見ていてとても心地が良い。

患者の振舞いはコミカルに描写されているが、現実の症状をよく再現したものとなっている。伊良部の治療は積極的に治すというよりも、患者が自らの病と向き合い、自分の在り方を見つける手助けをするという心理療法の色が強いものである。

作中の時間はほんの数日で、各話は並行して進んでいく。患者たちの物語は少しずつ絡み合いながら、クリスマスを終着駅に完結する。自分なりの救いを得た彼らが描かれるラストシーン、そしてそこからエンディングへとフェードアウトしていく演出は何とも心にくい。



TVアニメ『空中ブランコ』
(2009年)

原作 奥田英朗
『イン・ザ・プール』
『空中ブランコ』
『町長選挙』

ディレクター 中村健治

シュールな世界ですっきり笑って、ちょっと温かい気持ちになる。そんなお話。

はみだし
すてーじ

あなたがこの投稿を読んでいるところ、私はもう、京大にはいない……はず……。えっ、いないよね！？ ね！？ (総・4 Ti)
⇒今年度も「らいふすてーじ」をよろしくお願いします。(あなたの隣にらいふすてーじ！ じ！；編)